

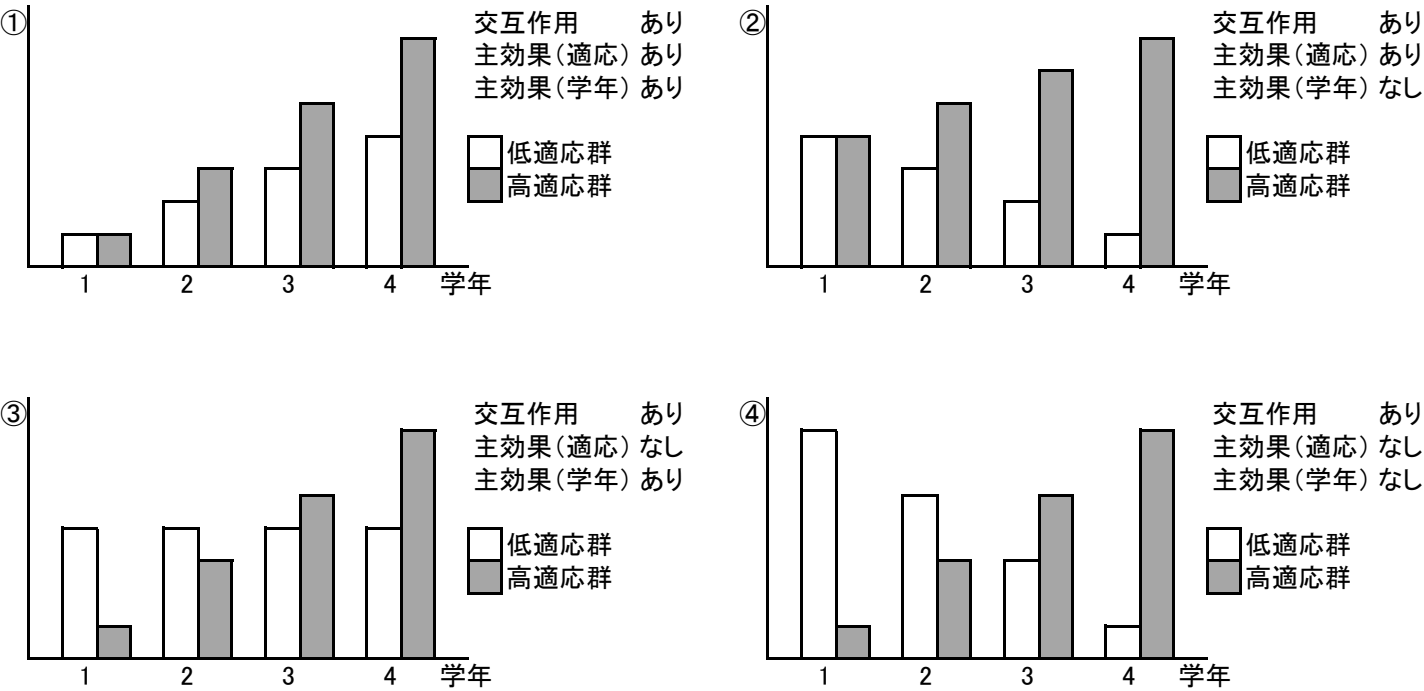
2要因の交互作用の例

交互作用： 適応度の違いによる従属変数の平均の差異が、 学年ごとで異なること。
学年の違いによる従属変数の平均の差異が、 適応度群ごとで異なること。

主効果(適応)： 学年を込みにしたとき、 適応度の違いにより従属変数の平均が異なること。

主効果(学年)： 適応度を込みにしたとき、 学年の違いにより従属変数の平均が異なること。

交互作用あり



交互作用なし

